

| 計 数 | 算出方法【カッコ内は調査表の番号】 | 摘 要 |
|----------------|---|--|
| 総資本営業利益率 | $\frac{\text{営業利益 (421)}}{\text{総資本 (321)}}$ | 事業者が総資本（総資産）を用いてどれだけの営業利益を上げたかを表す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 総資本純利益率 | $\frac{\text{税引前純利益 (431)}}{\text{総資本 (321)}}$ | 事業者が総資本（総資産）を用いてどれだけの純利益を上げたかを表す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 自己資本営業利益率 | $\frac{\text{営業利益 (421)}}{\text{自己資本 (320)}}$ | 事業者が自己資本を用いてどれだけの営業利益を上げたかを表す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 自己資本純利益率 | $\frac{\text{税引前純利益 (431)}}{\text{自己資本 (320)}}$ | 事業者が自己資本を用いてどれだけの純利益を上げたかを表す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 売上高総利益率 | $\frac{\text{売上総利益 (409)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 売上高に対する売上高総利益の割合を示す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 売上高営業利益率 | $\frac{\text{営業利益 (421)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 売上高に対する営業利益の割合を示す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 売上高純利益率 | $\frac{\text{税引前純利益 (431)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 売上高に対する純利益の割合を示す指標。この割合が大きいほど収益性が高い。 |
| 売上高販管费率 | $\frac{\text{一般管理販売費 (420)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する一般管理販売費の割合を示す指標。この割合が小さいほど経営が効率的である。 |
| 売上高人件费率 | $\frac{\text{人件費 (410)+(411)+(412)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する人件費の割合を示す指標。この割合が小さいほど経営が効率的である。 |
| 売上高広告販促费率 | $\frac{\text{広告宣伝費+販売促進費 (416)+(418)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する広告宣伝費及び販売促進費（リベートを除く。）の割合を示す指標。この割合が小さいほど経営が効率的である。 |
| 売上高金融費用率 | $\frac{\text{支払利息・割引料 (426)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する支払利息・割引料の割合を表す指標。この割合が小さいほど経営が健全である。 |
| 酒卸売上高の売上総利益率 | $\frac{\text{酒卸売上総利益 (401)-(405)}}{\text{酒類卸売上高 (401)}}$ | 酒類卸売業に係る売上高に対する売上高総利益の割合を示す指標。この割合が大きいほど酒類卸売業における収益性が高い。 |
| ビール卸売上高の売上総利益率 | $\frac{\text{ビール卸売上総利益 (402)-(406)}}{\text{ビール卸売上高 (402)}}$ | 酒類卸売業の中でもビール卸売に係る売上高に対する売上高総利益の割合を示す指標。この割合が大きいほどビール卸売業における収益性が高い。 |

| 計 数 | 算出方法【カッコ内は調査表の番号】 | 摘 要 |
|---------------------|--|---|
| 売上高対酒卸売上高 | $\frac{\text{酒類卸売上高 (401)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する酒類卸売業に係る売上高であり、酒類卸売業の專業割合を表す指標。この割合が大きいほど酒類卸売業への依存割合が高い。 |
| 売上高対ビール卸売上高 | $\frac{\text{ビール卸売上高 (402)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対するビール卸売業に係る売上高であり、ビール卸売業の專業割合を表す指標。この割合が大きいほどビール卸売業への依存割合が高い。 |
| 売上高対受取りべと率 | $\frac{\text{受取りべと (422)+(423)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する受取りべとの割合を示す指標。 |
| 売上高対支払りべと率 | $\frac{\text{支払りべと (427)+(428)}}{\text{総売上高 (404)}}$ | 総売上高に対する支払りべとの割合を示す指標。 |
| 売上原価対受取りべと率 | $\frac{\text{受取りべと (422)+(423)}}{\text{売上原価 (408)}}$ | 売上原価に対する受取りべとの割合を示す指標。 |
| 酒売上高対酒受取りべと率 | $\frac{\text{酒類の受取りべと (422)}}{\text{酒類卸売上高 (401)}}$ | 酒類売上高に対する酒類販売に係る受取りべとの割合を示す指標。 |
| 酒売上高対酒支払りべと率 | $\frac{\text{酒類の支払りべと (427)}}{\text{酒類卸売上高 (401)}}$ | 酒類売上高に対する酒類販売に係る支払りべとの割合を示す指標。 |
| 酒売上原価対酒受取りべと率 | $\frac{\text{酒類の受取りべと (422)}}{\text{酒類卸売原価 (405)}}$ | 酒類販売に係る売上原価に対する酒類販売に係る受取りべとの割合を示す指標。 |
| 従業者 1 人当たり売上高 | $\frac{\text{総売上高 (404)}}{\text{役員+従業員 (112)+(114)}}$ | 従業者に対する総売上高の割合を示す指標。この割合が大きいほど生産性が高い。 |
| 酒卸部門従業者 1 人当たり酒卸売上高 | $\frac{\text{酒類卸売上高 (401)}}{\text{酒卸売部門従事役員数+酒卸売部門従業員数 (113)+(115)}}$ | 酒類卸売業への従業者に対する酒類卸売上高の割合を示す指標。この割合が大きいほど生産性が高い。 |
| 付加価値 B | 人件費+減価償却費+賃借料+租税公課+支払利息・割引料+税引前純利益 (410)+(411)+(412)+(413)+(414)+(415)+(426)+(431) | 付加価値は、事業者が他から購入した財貨に、生産及び販売活動を通じて新たに付加した価値のことであり、事業者が内部で生産活動を実施すると数値が大きくなる。 |
| 付加価値 A | 付加価値 B - 支払利息・割引料 (426) | |

| 計 数 | 算出方法【カッコ内は調査表の番号】 | 摘 要 |
|----------|--|---|
| 総資本付加価値率 | $\frac{\text{付加価値B}}{\text{総資本}}$ (321) | 総資本（総資産）に対する付加価値の割合を示す指標。この数値が大きいほど事業者の生産性が高い。 |
| 売上高付加価値率 | $\frac{\text{付加価値B}}{\text{総売上高}}$ (404) | 総売上高に対する付加価値の割合を示す指標。事業者が内部で生産活動を実施すると、この数値が大きくなる。 |
| 付加価値生産性 | $\frac{\text{付加価値B}}{\text{役員+従業員}}$ (112)+(114) | 従業員に対する付加価値の割合を示す指標。この数値が大きいほど事業者の生産性が高い。 |
| 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ (305) (312) | 買掛金等の流動負債に対する現預金等の流動資産の割合を示す指標。この割合が大きいほど経営が健全である。 |
| 当座比率 | $\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$ (301)+(302) (312) | 買掛金等の流動負債に対する現預金、売掛金及び受取手形の割合を示す指標。この割合が大きいほど経営が健全である。 |
| 固定比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$ (306) (320) | 自己資本に対する固定資産の割合を示す指標。固定資産がどの程度自己資本で賄われているか表しており、100%以内であることが望ましい。 |
| 固定長期適合率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{長期借入金+自己資本}}$ (306) (313)+(320) | 自己資本及び長期借入金に対する固定資産の割合を示す指標。固定資産がどの程度自己資本及び長期借入金で賄われているか表している。 |
| 負債比率 | $\frac{\text{負債}}{\text{自己資本}}$ (317) (320) | 自己資本に対する負債の割合を示す指標。この割合が小さいほど負債を返済する能力が高い。 |
| 総資本借入金比率 | $\frac{\text{借入金}}{\text{総資本}}$ (310)+(313) (321) | 事業者が事業に用いている総資本（総資産）に対する借入金の割合を表す指標。この割合が小さいほど経営が健全である。 |
| 自己資本比率 | $\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$ (320) (321) | 事業者が事業に用いている総資本（総資産）に対する自己資本の割合を表す指標。この割合が大きいほど事業者の安全性が高い。 |
| 総資本回転率 | $\frac{\text{総売上高}}{\text{総資本}}$ (404) (321) | 総資本（総資産）に対する総売上高の割合を表す指標。この割合が大きいほど総資本（総資産）の運用効率が高い。 |
| 流動資産回転率 | $\frac{\text{総売上高}}{\text{流動資産}}$ (404) (305) | 流動資産に対する総売上高の割合を示す指標。この割合が大きいほど経営が効率的である。 |
| 固定資産回転率 | $\frac{\text{総売上高}}{\text{固定資産}}$ (404) (306) | 固定資産に対する総売上高の割合を示す指標。この割合が大きいほど経営が効率的である。 |